



東北地域の和食文化メールマガジン

令和7年4月22日（火）第71号



【目次】

1. 一般社団法人二科会デザイン部 二科会の公募のご案内
2. 農林水産省 第2回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を受付中
3. 農林水産省 第1回農林水産・食品分野における「知財功労賞」の受賞者を選定しました
4. 農林水産省 **【BUZZMAFF】**和食料理人 野崎洋光さんの動画を公開しました！[外部リンク]
5. 農林水産省 日本の「食文化」をめぐる情勢を更新しました
6. 農林水産省 第2回 Let's！和ごはんプロジェクトの見直しに関する懇談会を開催しました
7. 食品産業センター 「令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール」の表彰式を開催しました
8. 北陸農政局 北陸の食文化を食べて応援しよう
9. 農林水産省 「につぼん伝統食図鑑」に富山県の品目を追加しました
10. 仙台国税局 東北酒造マップ（令和7年3月31日作製）が掲載されました
11. 農林水産省 ジビエを旅先で楽しみたい！ーもっとおいしく旅するジビエー
12. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」4月号

=====

1. 一般社団法人二科会デザイン部 二科会の公募のご案内

=====

一般社団法人二科会デザイン部にて、「日本の郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」をテーマとしたポスターの公募（B部門）が始まりました。

作品搬入日：令和7年7月24日（木）10:30～18:00

作品直送の場合：令和7年7月14日（月）～7月18日（金）

【一般社団法人二科会デザイン部公募 HP】詳細はこちらから→

<https://www.nika-design.net/2025/2025/index.html>

=====

2. 農林水産省 第2回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を受付中

=====

近年、気候変動による被害が各地で発生しています。また、農村における働き手の高齢化や担い手不足も深刻です。このような背景を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、環境にやさしく、かつ生産性の高い、持続可能な食料・農林水産業の実現をめざし、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

2050年に日本を担う学生の皆さんは、まさにみどり戦略の主役。

日本の食料・農林水産業をリードするために、環境にやさしい取組にチャレンジしてみませんか。

参加登録期間：令和7年4月1日（火曜日）～6月30日（月曜日）

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>

=====

3. 農林水産省 第1回農林水産・食品分野における「知財功労賞」の受賞者を選定しました

=====

農林水産省は、本年度新たに創設した知財功労賞の農林水産大臣表彰に、高糖度トマト「アメーラ」の生産・販売等を行っている株式会社サンファーマーズ（静岡県）、輸出・国際局長表彰に有限会社綾園芸（宮崎県）、栃木県を選定しました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/250411.html

=====

4. 農林水産省 【BUZZMAFF】和食料理人 野崎洋光さんの動画を公開しました！[外部リンク]

=====

【絶品】和食の匠、野崎洋光さん「直伝」簡単レシピを紹介しています。

【外部リンク：BUZZMAFF】詳細はこちらから→

<https://www.youtube.com/watch?v=fnL1QL2Hrog>

=====

5. 農林水産省 【日本の「食文化」をめぐる情勢】を更新しました

=====

農林水産省は、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食文化の特徴や和食文化を保護・継承するための取組等についてまとめた【日本の「食文化」をめぐる情勢】をHPに掲載しています。

この中で、食育を通じた食文化の保護・継承の参考例として、第8回食育活動表彰において、教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】農林水産大臣賞を受賞した『サスティナ鶴岡（山形県鶴岡市）』の活動が掲載されています。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaishoku_shokubunka/index.html#syokubunkameguji

=====

6. 農林水産省 第2回 Let's！和ごはんプロジェクトの見直しに関する懇談会を開催しました

=====

農林水産省では、「第2回 Let's 和ごはんプロジェクトの見直しに関する懇談会」を開催しました。「第2回 Let's！和ごはんプロジェクトの見直しに関する懇談会」では、3社からの取組事例発表のあと、新たなプロジェクトにおける食品企業サイドの取組などについて意見交換がされました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/kondankai.html>

=====

7. 食品産業センター 「優良ふるさと食品中央コンクール」受賞食品発表

=====

一般財団法人食品産業センター主催による「令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール」受賞食品が発表されました。近年、消費者の健康、本物、ふるさと志向が強まる中、ふるさと食品の生産と消費を今後とも安定的に発展させるため、食品中央コンクールを実施しています。

今年度の東北受賞食品は以下のとおり

＜農林水産省大臣官房長賞：新製品開発部門＞

- ・青森県青森市 成邦商事株式会社「ほたて貝焼きみそ」
- ・岩手県上閉伊郡 MOMIJI 株式会社「大槌鹿の寒こうじ漬け」
- ・山形県尾花沢市 味高フーズ株式会社「すいか尾花沢ジュース」

＜（一財）食品産業センター会長賞：国産畜水産品利用部門＞

- ・福島県 株式会社マルリフーズ「松川浦かけるあおさ」

【外部リンク】受賞食品の詳細はこちらから→

<https://www.shokusan.or.jp/furusato/winner/date/2025/>

=====

8. 北陸農政局 北陸の食文化を食べて応援しよう

=====

令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被害にあわれたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

北陸農政局では、北陸の伝統的な食文化の発信とその食文化に関わる企業を間接的に応援するため、「北陸の食文化 食べて応援しよう」の取組みとして、北陸の郷土料理や伝統食などを紹介したパンフレットを北陸農政局のホームページに掲載しています。

パンフレットを参考に、是非、北陸各地を訪れて北陸の食文化をご堪能下さい。

一部、震災で入手が難しい食品もあります。オンラインショップなどを活用し在庫をご確認ください。

【北陸農政局 HP】詳しくは、コチラ→

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/food/wasyoku.html>

=====

9. 農林水産省 「にっぽん伝統食図鑑」に富山県の品目を追加しました

=====

にっぽん伝統食図鑑では、各地域で選定された伝統食の特徴、歴史、文化との関連、製造方法等についてのデータベースを作成し、情報発信しています。にっぽん伝統食図鑑に富山県の品目を追加しましたので、ご家庭での調理や外食企業でのメニュー化、食品製造企業での商品化、教育現場での活用、海外への情報発信などにぜひご活用ください。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/traditional-foods/area/toyama.html>

=====

10. 仙台国税局 東北酒造マップ（令和7年3月31日作製）が掲載されました

=====

仙台国税局では、お酒に関する情報が掲載されています。

東北酒造マップ（令和7年3月31日作製）は、清酒および果実酒、ビール、ウイスキーのマップがあります。ぜひ、東北酒造マップ片手に旅に出かけてみませんか？

酒造見学については、各製造場に直接お問合せください。

【仙台国税局 HP】詳細はこちらから→

<https://www.nta.go.jp/about/organization/sendai/sake/sakagura/index.htm>

=====

11. 農林水産省 ジビエを旅先で楽しみたい！ーもっとおいしく旅するジビエー

=====

ジビエツーリズムとは、山の猟場を歩いての狩猟体験、ジビエ処理施設での解体見学や美味しいジビエ料理を楽しむ他、シカやイノシシなどの野生動物の暮らしている痕跡を探したり、様々な角度からより深くジビエの魅力に触れる旅です。レジャーの選択肢として、鳥獣被害対策を通じた持続的な農業や環境保全にもプラスになる旅に出てみませんか？

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/gibier_promo.html

=====

12. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 4月号

=====

農林水産省では毎月、Web マガジン「 aff 」を発行しています。

4月号の特集は「スマート農業」です。

ロボットや AI などの先端技術を使って農業の作業効率や品質向上を目指すスマート農業の概要、スマート農業の導入のメリット、スマート農業の最先端のデジタル技術が農業でどう活用されているのか等について紹介しています。

【農林水産省 HP】「aff」 4月号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：佐藤

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>